

○「秩父奥多摩山地のタイ類とツノゴケ類」追記 (井上 浩) Hiroshi INOUE :  
Supplements to "Hepaticae and Anthocerotae of the Chichibu-Okutama Mountains, central Japan"

1962 年に秩父奥多摩地方のタイ類とツノゴケ類フロラについてまとめて発表していたが(服部植物研究所報告 no. 25), その後, この地域の資料を更に採集し, 又, 送付を受けた資料の中から新たに追加すべきものが数種でて来た。資料を送られた永野巖および渡辺良象の両氏にお礼申し上げます。

1. *Lepidozia vitrea* Steph. 埼玉県毛呂山町, 150 m, 腐植質土をかぶった岩上(永野 12424)。西日本には多く分布するが, 中部以北では非常にまれで, 岩手県早池峰が北限になっている。

2. *Cephalozia uniloba* Kitagawa. 長野県国師岳, 2000—2200 m, コメツガ林内の腐植土上(井上 8414)。四国剣山で記載され, 数ヶ所でその後発見されている。本州では最初の記録である。

3. *Fossombronia japonica* Schiffn. 埼玉県大血川(井上)および埼玉県小川町(井上)。低山地には普通に分布しているようである。

4. *Leptolejeunea subacuta* Evans. 埼玉県越生町, 300 m, カタヒバ生葉上に着生(永野 12484)。西日本に多く, 千葉県清澄山にまで知られていた。

5. *Drepanolejeunea japonica* Horik. 東京都西多摩郡御嶽七代の滝, 湿じゅんな岩上(井上)。西日本に多い種類で, 愛知県鳳来寺山まで知られていた。北限産地になる。

6. *Cololejeunea ornata* Evans (= *C. yamanakana* Kamim.) 埼玉県武甲山, 1300 m, 石灰岩上の *Thamnum sandei* 上に着生(渡辺 9011)。九州, 四国, 本州に点々と知られているが産地は少ない。日本の他には北アメリカに知られている。

(国立科学博物館)

○高等植物分布資料 (27) Materials for the distribution of vascular plant in Japan (27)

○ミヤマネズミガヤ *Muhlenbergia curviaristata* Ohwi var. *nipponica* Ohwi 従来は但馬以東の裏日本地帯に知られていたが, 島根県飯石(イイシ)那傾原(トンバラ)町の琴引山(出雲の国)に産するのを知った。森山美具氏の採集品である。鳥取, 岡山両県の中国山脈寄り地域にも見出されようし, 更に西漸分布も想像出来, 西限は山口東半部にあるだろう。

○キビナワシロイチゴ *Rubus Yoshinoi* Koidz. 九州から本州西半に点在して福島県を北限とするが, 出雲の琴引山(森山氏の採集)にも産する。

○オオバゴダイジュ *Tilia Maximowicziana* Shirasawa. 中部地方以西に未報告であったが, 同じく出雲, 琴引山に産する。大分県植物誌(山本義弘, 1953)に出ているが確認していない。

○フクシマシャジン *Adenophora divaricata* Fr. et Sav. 中部地方から近畿地方, 鳥取, 岡山の両県を飛んで出雲の琴引山に分布する。但し備中植物誌(吉野善介, 1929)に阿哲郡新砥村を挙げているので, その標本を探す必要がある。

○ウラジロウツギ *Deutzia Maximowicziana* Mak. 本誌 36 卷 10 頁(1961)に林弥栄氏が岐阜県以東の新産地を報ぜられた。其の中で長野県下伊那郡遠山川上流の北俣沢国有林は約 35° 25' N である。此の地よりも西ではあるが木曾谷北部の西筑摩郡福島町は 35° 51' N で, 表日本側に於ける北限であろう。沿道のがけに数株生えている。

(牧野標本館 水島正美)